

北九州市響灘ビオトープ
指定管理者管理業務にかかる

仕 様 書

北九州市 環境局

グリーン成長推進部 再生可能エネルギー導入推進課

目 次

第1 施設の目的等

1	施設の設置目的等	1
2	コンセプト	1
3	方向性（施設の在り方）	1
4	指定管理者に求める主な役割	2

第2 施設の概要等

1	施設の概要	2
2	各施設の概要	2
3	開園時間及び休園日	2
4	利用料金を徴収する施設・設備等	3

第3 業務の概要

1	市の求める要求水準	4
2	施設運営に関する業務	4
	（1）開園に関する業務	
	（2）閉園に関する業務	
	（3）施設等の利用許可に関する業務	
	（4）利用料等の徴収及び減免に関する業務	
	（5）施設利用者の支援に関する業務	
	（6）施設利用者の安全管理業務	
	（7）施設の展示に関する業務	
	（8）施設の利用促進に関する業務	
	（9）施設の光熱費支払いに関する業務	
3	施設利用者等の対応に関する業務	6
	（1）施設利用者等受け入れ調整業務	
	（2）ガイドツアー業務	
	（3）自然環境学習イベント等業務	
4	学習・交流等に関する業務	6
	（1）ボランティア活動支援業務	
	（2）自然環境の保全に関する理解を深める業務	
5	施設の維持管理に関する業務	7
	（1）除草等ビオトープの植生管理業務	
	（2）生物情報収集・発信業務及び希少種の保全・増殖業務	
	（3）特定外来生物等の駆除・情報発信業務	
	（4）清掃業務	

(5) 機械警備業務	
(6) 保守点検等に関する業務	
6 その他の業務	16
(1) 事業計画書及び収支計画書の提出	
(2) 業務報告書（月報）及び事業報告書の提出	
(3) アンケートの実施	
(4) 市が実施するモニタリングへの対応	
(5) 北九州市響灘ビオトープホームページ及び SNS の管理・運営	
(6) その他管理運営に必要な業務	
7 施設の管理運営にあたっての注意点等	18
(1) 備品の貸与及び管理について	
(2) 指定管理者による準備が必要な備品等について	
(3) 再委託の禁止について	
(4) 施設の設備、備品等の修繕等の対応について	
(5) 施設の現状変更及び回復義務等について	
(6) 書類等の保管について	
(7) 指定管理者に対する要望等について	
(8) 自主事業について	
8 設備等の概要	
(1) 響灘ビオトープ備品一覧	
◆補足資料 1 「北九州市建築物等定期点検業務共通仕様書」	
◆補足資料 2 「北九州市響灘ビオトープ 保全・管理計画」	
◆参考図面 1 「北九州市響灘ビオトープ施設平面図」	
参考図面 2 「北九州市響灘ビオトープ管理区域」	
参考図面 3 「北九州市響灘ビオトープネイチャーセンター平面図」	

第1 施設の目的等

1 施設の設置目的

北九州市響灘ビオトープ（以下、「響灘ビオトープ」という。）は、廃棄物最終処分場の跡地につくり出された園内の貴重な自然環境を活用し、生物多様性の保全、その他の自然環境の保全に関する学習及び交流の場を提供することを目的とする。

2 コンセプト

日本最大級のビオトープとして、生態系の保全に取り組むと共に、園内の自然環境や生き物を活用したイベントや環境学習ツアー等により、来場者へ自然と触れ合う機会を創出する等、生物多様性の保全と利活用の両立を目指す施設である。

3 方向性（施設の在り方）

（1）基本的な施設の在り方

本施設は、約41haの広大な敷地の中に湿地、草原、砂礫地などの多様な自然環境が存在し、ベッコウトンボやチュウヒ等の希少種を含む800種の生き物の生息が確認されている。このため、令和5年度に策定した「北九州市響灘ビオトープ保全・管理計画」に基づき、植生管理や生態系の保全を行うことを第一の目的とする。

また、環境学習拠点施設として、響灘ビオトープの自然や生き物を活用した各種イベントやネイチャーセンターでの展示、小学校への出張授業等の啓発活動を通じて、生物多様性を保全することの重要性を市民等へ発信することを第二の目的とする。

（2）本施設の主なターゲット

施設の目的と方向性に基づき、一人でも多くの来場者を集めることで、生物多様性の保全に対する意識を高め、行動変容に繋げることや、先進的に環境問題に向き合う都市としてのブランド向上を目指す。よって、以下のターゲットを設定し、ターゲットごとに効果的な企画や広報を実施する。

ア 未就学児～小学生やそのファミリー層

幼少期から家族と共に環境学習に触れることで、環境に配慮した行動が当たり前の価値観として形成される人材育成を目指す。

イ 学校等の利用

現在、市内の小学4年生を対象に実施されている「SDGs環境アクティブ・ラーニング」や社会見学、修学旅行等でより多くの学校に利用してもらえる施設を目指す。

ウ NPO・学校（部活動）等団体

「北九州市自然環境保全ネットワークの会」の構成団体等の利用を増加させ、環境学習拠点施設としての機能を強化することを目指す。また、中学校や高等学校等の生物系の部活動の活動の場として継続利用されることを目指す。

エ 企業

自然環境保全に取り組む企業に研修の場を提供し、企業利用の増加を目指す。また、周辺企業との協働による活動の増進を目指す。

オ 市外、国外の利用者

響灘ビオトープは福岡県で初めて「自然共生サイト」として認定された施設である。廃棄物処分場の跡地に整備された日本最大級のビオトープとして、ネイチャーポジティブの先進事例として発信できるポテンシャルを秘めており、市外や国外へ積極的にPRを行い、本市の更なるプレゼンス向上を目指す。

4 指定管理者に求める主な役割

以上の方向性や役割に基づき、指定管理者には主に以下の役割を求める。

- (1) 「北九州市響灘ビオトープ保全・管理計画」に基づく適切な施設環境の管理
- (2) 市の環境学習拠点としてふさわしい施設の運営
- (3) ビオトープの特徴を活かした集客力のあるイベントの実施
- (4) 認知度向上に向けた効果的なPR活動の実施

第2 施設の概要等

1 施設の概要

施設名：北九州市響灘ビオトープ

所在地：北九州市若松区響町二丁目

面積：約4.1ha

2 各施設の概要

(1) ネイチャーセンター

構造：鉄筋コンクリート造 1階建て

延床面積：569.68㎡

(2) ビオトープ園

面積：約4.1ha（うち利用区域：約1.0ha）

(3) 駐車場

一般用：65台、大型用：10台、身障者及び関係者用：4台、電気自動車用：1台

3 開園時間及び休園日

開園時間：9時～17時（ビオトープ入園は16時30分まで）

休園日：火曜日（当該日が国民の祝日の場合はその翌日）

年末年始（12月29日～1月3日）

※ただし、市が特に必要と認める場合は変更可能

※休館日や開園時間についても提案可能

4 利用料金を徴収する施設・設備等

区 分				金 額	
				一 般	小・中学校の 児童及び生徒
施 設	ビオトープ園	個 人	1 人 1 回	150 円	70 円
		団体 (30 人以上)		120 円	60 円
		年間定期券	1 人 1 年	600 円	280 円
	講義室			1 時間又はその端数ごとに 2,400 円 ※営利を主たる目的とする利用に係る 場合の額は、規定の額の 20 割に相当す る額となる。	
設 備	映像設備	液晶プロジェクター		1 台につき 1 時間又はその端数ごとに 2,250 円	
		スクリーン		1 台につき 1 時間又はその端数ごとに 300 円	
		DVD レコーダー		1 台につき 1 時間又はその端数ごとに 750 円	
	音響設備	ワイヤレスマイク		1 台につき 1 時間又はその端数ごとに 750 円	
		拡声装置		1 台につき 1 時間又はその端数ごとに 750 円	

※響灘ビオトープの利用料金は、「北九州市響灘ビオトープ条例」等の規程の範囲内において、指定管理者が市長の承認を受けて定める。

第3 業務の概要

1 市の求める要求水準

利用者等の対応において、市として指定管理者に求める最低限度の要求水準は、次のとおりとする。

ア 入園者数（ビオトープ園、ネイチャーセンター合計）	年間 18,000人
イ ガイドツアー参加者	年間 4,500人

2 施設運営に関する業務

(1) 開園に関する業務

開園時刻に、施設の開錠を行うこと。

(2) 閉園に関する業務

開園前に、園内で閉園案内を行う。閉園後はネイチャーセンター館内及びビオトープ園内を巡視し、利用者が残っていないことを確認した後、施錠すること。

(3) 施設等の利用許可等に関する業務

公の施設として、公平、公正な運営に努めるとともに、利用者サービスの向上に取り組みながら、施設等の利用許可等に関する業務を行うこと。

なお、業務の実施にあたっては、次の条例等の規定に基づくこと。

- ・北九州市響灘ビオトープ条例（以下、「条例」という。）
- ・北九州市響灘ビオトープ条例施行規則（以下、「施行規則」という。）
- ・北九州市響灘ビオトープ管理要綱（以下、「管理要綱」という。）

ア 対象施設及び設備

- (ア) ビオトープ園
- (イ) ネイチャーセンター
- (ウ) 映像設備（液晶プロジェクター、スクリーン、DVD レコーダー）
- (エ) 音響設備（ワイヤレスマイク、拡声装置）

イ 施設等の利用許可等に関する業務

- (ア) 利用許可（※）、団体見学・視察等の受け入れ及び利用調整
- (イ) 利用申請書の受理、審査、利用許可
- (ウ) 利用料減免申請、返還申請書の受理、結果通知
- (エ) 利用状況、利用後の確認
- (オ) 利用記録の作成

（※）ただし、条例第3条に規定する行為を行うための許可申請に対する使用許可は、

市が行うものとする。指定管理者は、使用の相談又は使用の申し込み等を受けた場合には、適切な説明を行い、必要事項を聴取の上、速やかに市へ報告を行うとともに、市の指示に従い必要な措置を講じること。

(4) 利用料等の徴収及び減免に関する業務

利用料等については、条例等の規定の範囲内において、指定管理者が市長の承認を受けた上で定め、指定管理者の収入として徴収することが出来る（条例第8条、別表及び施行規則第5条別表参照）。

また、利用料等の減免については、市長が定める基準に従い行う（条例第9条及び管理要綱第5条各項、別表参照）。

なお、管理要綱第5条第1項別表「その他市長が特に必要があると認めるとき」に基づき減免する場合は、市の承認を得なければならない。

(5) 施設利用者の支援に関する業務

車いすや双眼鏡等の貸し出しを行う等、施設利用者の属性や要望に応じて適切な支援を行うこと。

(6) 施設利用者の安全管理業務

施設利用者の把握に適宜努めるとともに、園内巡視やアナウンス、夏季における日よけの設置等、来園者に対する安全管理を行うこと。

また、避難誘導や AED を利用した蘇生補助等、緊急時に適切な対応を行うとともに、次の場合は、施設の閉館又はビオトープ園への入園制限を行うこと。

ア 市災害対策本部を設置（警戒態勢発動）した場合

施設（ビオトープ園及びネイチャーセンター）を閉館すること。なお、閉館にあたっては、必ず事前に市と連絡調整を行うこと。

イ 天候不良等、現地にて施設管理者が危険と判断した場合

ビオトープ園への入園を制限すること。

(7) 施設の展示に関する業務

ネイチャーセンター内における全ての展示物を適切に管理すること。また、展示内容の充実や企画展示を開催するなど、魅力向上に努めること。

(8) 施設の利用促進に関する業務

各種サービスの質の向上や、新たなサービスの提供等により、施設の利用促進を図ること。特に、ホームページや SNS 等を積極的に活用し、響灘ビオトープの広報宣伝、自然環境保全の啓発、イベント・行事に関する情報発信に努めること。なお、SNS の投稿は開園日毎に 1 回程度を目安とする。

(9) 施設の光熱水費支払いに関する業務

施設の光熱水費（電気代・水道代）の支払いを行うこと。また、毎年度、光熱水費の実績を市に報告すること。

なお、光熱水費については指定管理料の中で支払うため、指定管理者は、省エネ対策に取り組み、光熱水費の削減に努めること。

3 施設利用者等の対応に関する業務

(1) 施設利用者等受け入れ調整業務

施設利用者の区分（個人、団体）や目的（社会科見学、修学旅行、企業視察等）に応じて、適切な調整を行うこと。また、希望に応じて近隣のエコタウンセンターを紹介する等、近隣施設との有機的な連携を図ること。

(2) ガイドツアー業務

利用者のニーズに配慮しながら、積極的にガイドツアーを実施すると同時に、次の取組に努めること。

ア ガイド（展示・園内解説員）の資質向上に繋がる研修業務

イ ガイド実施実績の管理

(3) 自然環境学習イベント等業務

利用者へのサービス向上を図り、来園者の増加へつなげるため、施設のテーマである「貴重な自然環境の保全」や「生物多様性の確保」等に関して、幅広い市民を対象に、指定管理者の創意工夫を凝らし、園内外で以下のイベントを企画・実施すること。

・講演会（年1回）

・ベッコウトンボ調査等の季節ごとの観察会（四季毎に1企画）

・バスツアー（年1回）

4 学習・交流等に関する業務

(1) ボランティア活動支援業務

響灘ビオトープを拠点として、次のとおり自然環境学習・環境保全活動を推進する市民ボランティアの活動を支援し、園内サービスの充実を図ること。

ア ボランティア活動のサポート

イ ボランティアの活動予定の取りまとめ、活動計画表の作成

ウ ボランティア活動で使用する機材、実験器具、消耗品、事務用品等の購入・管理、報酬の支払い

エ その他ボランティアに関し必要な業務

(2) 自然環境の保全に関する理解を深める業務

市民を対象とし、響灘ビオトープをはじめとした市内の自然環境の保全と理解

を促進するため、次の事業を実施すること。

- ア 主に児童や生徒等を対象とした出張授業（年40回を上限とする）
- イ 市民を対象とした環境学習ツアー
- ウ その他、自然環境の保全及び理解に資する事業

5 施設の維持管理に関する業務

「北九州市響灘ビオトープ保全・管理計画」に基づき、草原、湿地及び池等の自然環境並びに園内に生息する希少種の保全を図るとともに、生息する生物についての調査結果をまとめ、響灘ビオトープの保全、管理及び広報に活用すること。

また、市に設置している「北九州市響灘ビオトープ希少種保全検討会議」について、市と協働して事務局業務に取り組むとともに、委員の意見等を参考にして、「北九州市響灘ビオトープ保全・管理計画」の修正や長期・中期・年度計画の作成等を行うことにより、響灘ビオトープの保全・管理等に反映していくこと。

（１） 「北九州市響灘ビオトープ保全・管理計画」に関する業務

- ア 「北九州市響灘ビオトープ希少種保全検討会議」を市と協働して開催し、委員の意見を聴取すること。
- イ 委員の意見を踏まえ、市と協議し「北九州市響灘ビオトープ保全・管理計画」の修正や長期・中期・年度計画の作成を行うこと。

（２） 除草等ビオトープの植生管理業務

ア 概要及び目的

園内の生態系の保全に配慮すると同時に、来園者の妨げとならない植生管理を行うことを目的とする。また、特にベッコウトンボ、コアジサシ、チュウヒ等の希少な生物種の生息や営巣、採餌等に配慮した環境整備を行うこと。

なお、業務を行う際には、市と緊密に連携して実施すること。

イ 管理エリア

ビオトープ園内

ウ 業務内容

（ア） ビオトープ園全体の植生管理計画の提案

ビオトープ園は、湿地エリア、草地エリア、砂礫地エリア等、様々なエリアが陸続きに近接しており、そこに生息している動植物の生育条件は、それらのエリアが密接に影響しあっているため、個別の業務内容（草刈り、水位管理、樹木除去等）を実施するにあたり、ビオトープ園全体を考慮した植生管理計画が必要である。

このため、指定管理期間の5年間における、ビオトープ園全体の生物生息状況を考慮した植生管理計画を提案すること。

(イ) 個別の業務内容

詳細は、次のとおり。なお、毎年の保全・管理状況に基づき、「北九州市響灘ビオトープ希少種保全検討会議」の協議内容によって範囲や時期が変更になる可能性あり。

<業務ごとの仕様内容>

業務内容	エリア	管理面積	管理の目安
草刈り ※「草刈り実施スケジュールの目安」及び「北九州市響灘ビオトープ保全・管理計画」を参考	A. 草地（中央台地東西）	35,000 m ²	・エリア内で複数の区画に区切り、延べ約 40,000 m ² ・来園者の安全や快適性を考慮
	B. 草地（砂礫地）	20,000 m ²	・エリア内で礫部を中心に延べ約 3,000 m ² ・コアジサシの飛来状況を考慮
	C. 草地（中央台地砂礫地より西側）	20,000 m ²	・エリア内で延べ約 3,000 m ² /隔年
	D. 湿地（一番池）	20,000 m ²	・草丈や野鳥の飛来状況を考慮して、具体的な除草範囲、時期等を設定。 ・エリア内で3回程度。延べ約 30,000 m ²
	E. 湿地（二番池、三番池、三番池南側）	E1. 二番池 12,500 m ² E2. 三番池 12,500 m ² E3. 三番池南 3,000 m ²	・ベッコウトンボ、チュウヒの生活史を配慮の上、水草の繁茂状況を考慮して、具体的な除草範囲、時期を設定。 ・エリア内で延べ約 2,000 m ² ・区域は、「北九州市響灘ビオトープ保全・管理計画」を参照。
	園路周辺	—	・来園者の安全や快適性を考慮しながら適宜（見晴台、ネイチャーセンター周辺含む）
水位管理	湿 地	—	・湿地の水位安定のため、淡水池を利用し、ポンプアップ等による水位管理
樹木除去	—	—	・草原を維持管理するため適宜

＜草刈り実施スケジュールの目安＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
AC. 草地	⇔	⇔	⇔	⇔			⇔	⇔	⇔			
	来園者の動線など安全に十分配慮して実施											
B. 草地 (砂礫地)	⇔											⇔
	コアジサシの繁殖期前に実施。											
D. 湿地 (一番池)		⇔				⇔						⇔
	渡り鳥の飛来状況を考慮しながら、主に春季・夏季に実施。											
E. 湿地 (二番池、三番池、三番池南)								⇔	⇔	⇔	⇔	
	ベッコウトンボ、チュウヒの生活史を考慮しながら、冬季に実施。											
園路	来園者の安全や快適性を考慮しながら適宜											

＜草刈り実施エリア＞



(3) 生物情報の収集・発信業務及び希少種の保全・増殖業務

ア 概要及び目的

響灘ビオトープ内に生息する希少種の情報収集及び情報発信を通じて、市民への啓発や来園の動機付けを図るとともに、保全及び増殖によりビオトープ内の貴重な自然環境の保全と生物多様性の確保を目的とする。

イ 管理エリア

ビオトープ園内

ウ 業務内容

(ア) 生物に関する情報収集・発信

- a 響灘ビオトープ内に生息する動植物の情報を収集し、ベッコウトンボ、コアジサシ、チュウヒ等希少な種の保全のための取組みを入園者に発信する。
- b 「北九州市響灘ビオトープ保全・管理計画」に基づき、指定管理者を主体とした生物調査・情報収集を行うとともに、日本トンボ学会との協力によるベッコウトンボの調査や第3-4-(1)の「ボランティア活動支援業務」を通じた希少種の調査等を、市、外部専門家や市民等と連携して行うこと。
- c 第3-3の「施設利用者等の対応に関する業務」を通じて、響灘ビオトープ内の希少種の保全に向けた発信を行う。

(イ) 希少種の保全・増殖

- a 前述の「ボランティア活動支援業務」を通じて、希少種の保全・増殖に取り組む。
- b 日本トンボ学会（ベッコウトンボ）等、外部専門家や企業の依頼があった場合は、その協力及び支援を前提として、市と相談した上で、希少種の保全・増殖を行う。

(4) 特定外来生物等の駆除・情報発信業務

ア 概要及び目的

特定外来生物等の駆除により、響灘ビオトープ内での自然環境の保全及び生物多様性の確保を図るとともに、市民への啓発を図ることを目的とする。

イ 管理エリア

ビオトープ園内

ウ 業務内容

(ア) 特定外来生物等駆除業務

響灘ビオトープ内で新たな特定外来生物を発見した場合、速やかな市への報告及び駆除等の対応を行う。

(イ) 特定外来生物についての普及啓発

第3-2-(8)の「施設の利用促進に関する業務」等を通じて、情報発信を行う。

(ウ) 有害鳥獣の駆除に関する業務

シベリアイタチ（雄・雌）等の有害鳥獣を発見した場合、速やかに市への報告及び駆除等の対応を行う。

(エ) 侵略的外来種に関する業務

スクミリンゴカイ（ジャンボタニシ）やセイタカアワダチソウ等の園内の生態系に影響を与える種について、必要な対策を講ずること。

※駆除等に関連して必要な手続きは、指定管理者が行う。なお、実施にあた

っては、類似種等を誤って駆除することがないように、留意すること。

(5) 清掃業務

ア 概要

日常及び定期清掃を行い、施設、施設敷地内及び周辺の美化保持と良好な環境衛生の確保を目的とする。

イ 対象施設

ネイチャーセンター、敷地内及びその周辺

ウ 一般事項

- (ア) 作業を行うにあたっては、関係法令を遵守し、特に、安全及び衛生管理面では的確な措置を講じ、作業場での衛生管理及び事故防止等に厳重に注意すること。
また、業務に支障がないように十分注意すること。
- (イ) 日常の清掃作業は、開園時間までに終えておくこと。
- (ウ) 鍵は、又貸しや紛失等しないよう、取扱いには十分注意すること。
- (エ) 清掃作業にあたっては、不審者等が館内に入ってくないように、十分注意すること。
- (オ) 作業を行うにあたっては、危険防止、衛生保持及び火気取扱い等に十分留意すること。
- (カ) 精密機器を備えているところは、塵埃及び湿気が故障の原因となることがあるので、十分注意すること。
- (キ) 清掃作業中に、機械器具、展示品、備品等の損傷又はネズミ等を発見したときは、速やかに連絡すること。
- (ク) 清掃作業終了の際は、施錠を確認し、不要な照明等は消灯すること。
- (ケ) ごみ類の館外搬出は、必ずその日のうちに指定の場所に搬出すること。
- (コ) 拾得物は直ちに届け出ること。
- (サ) 来園者に不快感を与えることのないようにすること。
- (シ) 日常及び定期清掃に関する機材、専用資材、洗剤、消耗品、クリーニング及び除草作業等に掛かる全ての経費は、指定管理者が負担する。

エ 清掃内容

- (ア) 床面の掃き拭き
- (イ) ごみ箱・くず入れの処理
- (ウ) 椅子、机、展示台類の拭き上げ
- (エ) ガラス清掃
- (オ) 展示物の埃払い
- (カ) 流し台等の清掃、トラップ詰まり等の除去
- (キ) 便器の清掃、トラップ詰まり等の除去、トイレトペーパー等の補充
- (ク) 洗面台・鏡の清掃、トラップ詰まり等の除去
- (ケ) 手すり、ベンチの清掃

オ 清掃場所

No.	室 名	面積 (㎡)	床仕様
1	事務室	20.31	ビニール床シート
2	ボランティア室	35.15	ビニール床シート
3	女子更衣室	1.08	ビニール床シート
4	女子シャワー室	1.00	ユニットシャワー
5	女子脱衣室	1.08	ビニール床シート
6	男子更衣室	4.32	ビニール床シート
7	男子シャワー室	1.00	ユニットシャワー
8	男子脱衣室	1.08	ビニール床シート
9	廊 下	7.20	ビニール床シート
10	湯沸し室	5.17	ビニール床シート
11	物 置	8.03	ビニール床シート
12	展示室 ロッカースペース	308.53	ビニール床シート
13	女子便所	19.83	ビニール床シート
14	男子便所	26.67	ビニール床シート
15	多目的便所	4.95	ビニール床シート
16	講義室	80.00	ビニール床シート
17	倉 庫	32.00	ビニール床シート
18	風除室	10.54	磁器質 100 角タイル
19	風除室外部	19.79	磁器質 100 角タイル (ノンスリップ)
	計	587.73	

カ 日常清掃

施設及び施設敷地内等の美化保持と、良好な環境衛生を確保するため、開園前に適度を実施すること。なお、清掃に関する機材、消耗品等は、指定管理者が負担すること。

キ 定期清掃

日常清掃ではとれない汚れ、あるいは汚染度の高い部分を定期的に清掃すること。開園日に実施する場合は、来館者への十分な配慮を行い、響灘ビオトープの業務に支障がないように十分注意を払うこと。主な内容と清掃頻度の目安は以下のとおり。

- (ア) ワックス研磨 (年 3 回程度)
- (イ) ワックス剥離研磨 (年 1 回程度)
- (ウ) 床面洗浄 (年 4 回程度)
- (エ) ガラス清掃 (内外部：年 2 回程度、外部：年 10 回程度)
- (オ) ブラインド清掃 (年 1 回程度)

ク 作業報告書・日報等の作成等

- (ア) 作業日報を毎日作成する。

(イ) 定期清掃については、作業報告書を作成する。

(ウ) 外部委託を行う場合については、指定管理者は、監督者として受託者の適正かつ円滑な業務遂行を図るとともに、受託者に、上記（ア）、（イ）に定める作業日報及び作業報告書等を提出させなければならない。

ケ その他

(ア) 指定管理者は、清掃業務を行う場合（外部委託の場合も同様）は、関係法令を遵守し、特に安全及び衛生管理に的確な措置を講じ、業務の円滑な遂行に努めなければならない。

(イ) 本仕様書に定めのない事項が生じたとき、又は疑義が生じた時は、市と協議の上、決定する。

一般ごみの処理（（４） 清掃業務関連）

- ・一般ごみ、かん・びん・ペットボトル、古紙等を分別し、リサイクル及び適正な処理を行うこと
- ・ごみ置場を定め、ごみ散乱等防止策を講じるとともに、美観の保持及び衛生管理に努めること
- ・響灘ビオトープから出されるごみは、事業系一般廃棄物となるので、適正に処理を行える事業者と契約を行うこと
- ・資源ごみ（かん・びん・ペットボトル、古紙）については、リサイクルの促進に努めること

（５） 機械警備業務

ア 目的

本業務は、夜間・休日等における防犯・火災監視等の対策として機械警備を行い、ネイチャーセンターにおける安全の確保を目的とする。

イ 対象施設

ネイチャーセンター

ウ 対象時間

閉館中（夜間・休日等）の全時間帯

エ 業務内容

指定管理者は、閉館中（夜間・休日等）の全時間帯において、機械警備により次の業務を実施する。

（ア）不法侵入、火災、盗難及び損壊行為等の拡大防止

（イ）施設の異常発生時における、関係各所への通報・連絡

（ウ）事故等覚知時における、関係各所への通報・連絡

（６） 保守点検等に関する業務

ア 概要及び目的

指定管理者は、ビオトープ園内及びネイチャーセンターにおける設備等の日常点検、定期点検の実施を通して、施設の円滑な維持管理を行うもの。

イ 業務区分

- (ア) 日常点検業務
- (イ) 定期点検業務（各種保守点検等業務）

ウ 日常点検業務

- (ア) 対象設備等

ビオトープ園内及びネイチャーセンター内の全ての設備・備品等

- (イ) 業務内容

- ・指定管理者は、各施設及び敷地内の設備等（定期の保守点検等対象設備を含む）の日常的な維持管理を行わなければならない。
- ・施設利用者の利便や安全確保を図るため、定期的に施設内を巡回し、設備や備品、展示什器の破損等がないか注意するとともに、設備・装置等の動作確認を適宜行うこと。
- ・設備等に関する異常等を発見した場合で、緊急性がありかつ軽微なものについては、市に報告及び協議の上、速やかに適切な措置（補修・修繕等）を講じるものとする。なお、大規模な工事や補修等を行う必要があると判断した場合は、市に報告し、対策について協議すること。

エ 定期点検業務（各種保守点検等業務）

対象業務

- ①空調設備等保守点検
- ②消防用設備等保守点検
- ③自動扉開閉装置（自動ドア）保守点検
- ④自家用電気工作物保安点検

注意事項（各業務共通）

- ・保守点検等業務の実施にあたっては、施設及び構造物等に損傷を与えることのないよう、十分注意すること。
- ・労働安全衛生等に関する関係法令並びに指定管理者（法人・団体等）が定めた安全管理要領等を遵守し、最善の努力を払って安全衛生管理を行うこと。
- ・来館者、見学者等の安全を確保するとともに、必要に応じ、通路の確保や作業中等の表示（看板等）を行うこと。
- ・常に現場の整理整頓を励行し、かつ清潔に保つこと。

(ア) 空調設備保守点検業務

a 概要及び目的

本業務は、ネイチャーセンター内の空調設備の効率的な点検及び計画的な整備を行うことで、各機器・装備の性能保持を図るとともに設備の円滑な運転処理を目的とする。

b 業務内容

- ・設備の点検は、下記「保守点検内容」に基づき、目視点検や測定機器等により行う。
- ・事前に点検簿を作成する。

- ・点検結果を点検簿に記録し、異常を発見した場合は、必要な対策を講じる。
- ・業務終了後は、速やかに「点検報告書」を作成する。

c 保守点検内容（年2回）

I 対象機器

- ・空冷ヒートポンプエアコン類（室外機5台、室内機8台）

II 点検項目

- ・電圧測定
- ・電流測定
- ・ガス配管温度測定（室外機）
- ・吹き出し・吸い込み温度測定（室内機）
- ・外気温度測定
- ・フィルター清掃

(イ) 消防設備保守点検業務

a 業務内容

- ・消防用設備等の機能保全のため、消防法第17条の3の3及び同法施行規則31条の4に規定する保守点検を行う。
- ・12箇月に1回の総合点検を行う。
- ・機器点検（作動・外観・機能点検）を行う。
- ・総合点検及び機器点検は、消防整備士により実施する。
- ・保守点検完了後、その都度、昭和50年消防庁告示第3号に定める様式により報告書を作成し、北九州市若松消防署長へ提出する。

b 保守点検対象設備

I 自動火災報知設備

受信機：1台、感知器：18個、発信機：1個

II 非常警報（放送）設備

増幅器：1台、減衰機：3台、スピーカー：15台

III 誘導灯及び誘導標識

誘導灯：7台、誘導標識：7枚

IV 消火器

消火器：3台

(ウ) 自動ドア保守点検業務

a 業務内容

- ・設備の点検は、下記(c)「保守点検内容」に基づき、目視点検や測定機器等により行う。
- ・事前に点検簿を作成する。
- ・点検結果を点検簿に記録し、異常を発見した場合は、必要な対策を講じる。
- ・業務終了後は、速やかに「点検報告書」を作成する。

b 対象機器

エントランス 2台

c 保守点検内容（年2回）

- ・開閉の妨げになる障害物、誤作動要因となる障害物の有無を点検する。
- ・ドアエンジンの装置各部の点検及び調整等を行う。
- ・ドアエンジンの開閉速度、クッション作動の異常の有無の点検及び調整等を行う。
- ・ドアエンジンの装置の電気回路の異常の有無の点検及び調整等を行う。
- ・モーターベルト、タイミングベルトの調整を行う。
- ・機械各部の清掃及び潤滑油の注油等を行う。
- ・ドアの接触状況（異常に当たっていないか、擦れていないか等）の点検整備を行う。
- ・各機器・部品の異常や消耗度の著しい部品の有無の点検及び調整等を行う。
- ・端子部の接続状態や配線状態の良否の点検及び調整等を行う。
- ・自動扉装置と大地間の絶縁抵抗を測定する。
- ・排水処理の良否を点検する。
- ・検出感度及び範囲の良否を点検する。

(エ) 自家用電気工作物保守点検業務

a 業務内容

- ・ネイチャーセンターの電気工作物の維持及び運用について定期的な点検、測定及び試験を行い、経済産業省令で定める技術基準への不適合又は不適合の恐れがあると判断した場合は、市に報告し、修理、改造等について協議する。
- ・電気事故その他電気工作物に異常が発生若しくは発生する恐れがある場合は、市に報告し、協議のうえ、必要な措置を講じる。
- ・法令に基づく官庁検査の際に有資格者が立会する。

b 業務方法

- ・通常点検 需用設備 2箇月1回
- ・定期点検 需用設備 1箇年1回
- ・電気工作物の設置、改造の工事期間中の工事監督は、毎週1回以上行う。

c 対象設備

- ・ネイチャーセンターの自家用電気工作物
- ・受電設備容量 28.555KVA
- ・受電電力 33.4KW
- ・受電電圧 100/200V
- ・その他 太陽光発電設備（発電容量5.5kw）
充電スタンド（屋外）

6 その他の業務

(1) 事業計画書及び収支計画書の提出

毎年度当初に事業計画書及び収支計画書を市に提出し、承認を得ること。主な内

容は次のとおり。詳細は協議の上、協定で定める。

- ア 管理業務の実施計画（見学者数の目標、施設の設置目的の達成に向けた取組み、利用者の満足度向上に向けた取組み、経費の低減及び収入増加に向けた取組み等）
- イ 施設の維持管理計画（保守点検計画、委託業者選定方法及び再委託業者等）
- ウ 管理運営体制（運営組織図、緊急連絡体制等）
- エ 収支計画書（見積書）

（２） 業務報告書（月報）及び事業報告書の提出

ア 業務報告書（月報）の提出

各月の業務報告書（月報）を、翌月の 10 日までに作成し、市に提出すること。報告内容は次のとおり。詳細は協議の上、協定で定める。

- （ア）施設利用状況（見学者数、施設利用状況等）
- （イ）管理運営の実施状況（施設・設備の点検状況（再委託業務を含む）、苦情処理等）
- （ウ）その他業務の実施状況（イベント開催実績・参加者数、研修の実施状況等）
- （エ）利用料徴収状況（施設・設備利用料）
- （オ）その他管理運営の実態を把握するために必要な書類

イ 事業報告書及び収支決算書の提出

各年度の事業報告書及び収支決算書を、毎年度終了後 1 カ月以内（4 月末迄）に作成し、市に提出すること。報告内容は次のとおり。詳細は協議の上、協定で定める。

- （ア）施設利用実績（見学者数、施設利用状況等）
- （イ）管理運営の実施実績（施設・設備の点検状況（再委託業務を含む）、苦情処理等）
- （ウ）その他業務の実施実績（イベント開催実績・参加者数、研修の実施状況等）
- （エ）使用料徴収実績及び減免実績（施設・設備使用料、資料代）
- （オ）利用者アンケート結果
- （カ）課題分析と自己評価（年度総括）
- （キ）その他管理運営の実態を把握するために必要な書類
- （ク）収支決算書

（３） アンケートの実施

施設運営の更なる向上を目的として、団体及び個人へのアンケートを実施すること。実施時期、内容等については、市と指定管理者が協議して定める。

（４） 市が実施するモニタリングへの対応

市は、指定管理者の管理運営業務及び経理事務の遂行状況を確認するため、業務報告書（月報）や事業報告書による確認のほか、施設管理業務計画書や法定点検報告書、帳簿、経理関係書類等の書類確認及び現地目視確認によるモニタリングを実施する。確認項目の詳細については、基本協定締結時に定める。

(5) 北九州市響灘ビオトープホームページ及び SNS の管理・運営

ホームページ及び SNS を活用し、響灘ビオトープにおけるイベント・講座及び関連情報等を発信することで、利用者に対する情報提供の充実に努めること。

ア ホームページ

(ア) サーバーの管理に関すること

データのバックアップ 1 日 1 回

(イ) ホームページの運営

ホームページの掲載内容について、最新の情報を SNS で情報発信すること。

なお、変更や追加内容については、市の了解を受けること。

(ウ) メーリングリストの管理及びユーザーの追加、削除

イ SNS (X、You Tube、Instagram)

(ア) SNS の管理に関すること

「響灘ビオトープ ソーシャルメディア (X、You Tube、Instagram) 運用ポリシー」に基づき、適切に管理を行うこと。

(イ) SNS の運営

最新の情報を画像・映像等で提供すること。

(6) その他管理運営に必要な業務

ア 苦情対応に関する業務

響灘ビオトープの管理運営全般に関して、苦情が発生した場合は、指定管理者の責任において迅速かつ適切に処理し、速やかに市へ報告を行うこと。

イ 個人情報に関する業務

響灘ビオトープの管理運営上、指定管理者が取り扱う全ての個人情報は、個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57 号）に基づき、その取扱いに十分留意し、漏えい、滅失及び毀損の防止、その他個人情報の適切な管理に努め、個人情報を保護するために必要な措置を講ずること。

ウ その他

響灘ビオトープの管理運営において、災害、事件、事故等の緊急事態が発生した場合は、直ちに市へ報告するとともに、必要な措置を講ずること。

また、常に（市の閉庁日等においても）迅速な連絡・報告ができるよう、予め緊急時の連絡体制を整備しておくこと。

7 施設の管理運営にあたっての注意点等

(1) 備品の貸与及び管理について

市は、指定管理者に「8－(1) 響灘ビオトープ備品一覧」に提示している備品を無償で貸与する。

指定管理者は、当該備品について、善良なる管理者の注意をもって管理しなければならない。故意又は過失により貸与備品を損傷、滅失したときは、市に対しこれを弁償しなければならない。

（２）指定管理者による準備が必要な備品等について

上記 7－（１）で示す貸与備品のほかに、指定管理者による準備が必要と考えられる備品等について、次のとおり提示する。

ア パソコン

- ・管理運営に関する各種事務用
- ・ホームページの管理、問い合わせ対応のためインターネット接続可能なパソコンが必要。台数は人員配置等に応じ検討すること

イ 車 両

- ・市や他の機関との連絡・連携等の業務で必要

ウ 制 服

- ・入園者に対し、スタッフであることを明確にするため、統一した制服が必要。
- ・制服は華美とならないよう、また、好感の持てるものにする
- ・スタッフは名札着用のこと

エ FAX 機

- ・施設見学希望者に対する申請書の送付、申込受付、企業等との各種連絡調整に必要

オ コピー機

- ・見学者等への各種配布資料等及び各種事務関係で必要

カ プリンター

- ・見学希望者等の申請書等の印刷、その他報告書、統計資料、スケジュール等の印刷にも必要

キ その他

- ・その他指定管理者が必要とする備品等

（３）再委託の禁止について

指定管理者は、清掃や警備、各種保守点検等の個々の業務を第三者に委託することはできるが、管理運営業務の全部又は大部分を一括して第三者に委託し、又は請け負わせることはできない。

（４）施設の設備、備品等の修繕等の対応について

指定管理者は、日頃より日常点検に努める必要があるが、修繕等が必要な場合は、原則、次のとおり対応する。

ア 施設の設備等について

緊急かつ軽微な修繕等については、市に報告及び協議の上、速やかに適切な措置を講ずるものとする。修繕にかかる経費は年 40 万円を超えないものとする。また、経費は概算払いで行い、年度毎に精算を行うこととする。

イ 備品の修繕等について

（ア）経年劣化等で業務に供することが出来なくなったときは、市が対応する。

(イ) 指定管理者の責めに帰すべき事由により供することが出来なくなったときは、指定管理者が対応する。

(5) 施設の現状変更及び回復義務等について

ア 指定管理者は、施設又は設備の改造等現状を変更することはできない。ただし、事前に市と協議の上、承認を得たときはこの限りでない。

イ 指定管理者の指定期間が終了したとき、又は指定を取り消されたときは、市の指示に従い、速やかに施設又は設備の全てを原状に回復しなければならない。ただし、市の承認を得たときはこの限りでない。

ウ 指定管理者は、施設及び設備等の全てを汚損、破損及び亡失したときは、市の指示に従い、原状に回復し、又は損害を賠償しなければならない。

(6) 書類等の保管について

指定管理者が、響灘ビオトープの管理運営に関して作成又は取り扱った書類の全ては、市と協議の上、保管・管理すること。

(7) 指定管理者に対する監督等について

ア 市は、指定管理者が管理する施設の適正な運営を期するため、指定管理者に対して、当該業務内容又は経理の状況に関して報告を求め、実地に調査し又は必要な指示を行うことができる。

イ 市は、指定管理者が業務を行うに際し、不正行為があったとき、業務を行うのに必要な資力及び信用を欠くに至ったとき、あるいは正当な理由なく報告もしくは調査を拒み、市の指示に従わないとき等、施設の適正な管理に著しい支障が生ずる恐れがあるときは、指定を取り消し、又は期間を定めて業務の全部又は一部を停止させることができる。

(8) 自主事業について

指定管理者は、市と協議の上、響灘ビオトープの設置目的に沿った自主事業を行うことができる。なお、自主事業の実施にあたっては、響灘ビオトープの魅力向上に資資する内容であるとともに、管理運営業務に支障のないように留意すること。

響灘ビオトープ 備品一覧

備品番号	品名	仕様	付属品
0004073	トラクター	ヤンマーディーゼル F7DAVUS-3X	
0128355	「車両」その他	車椅子	
0210747	ガラス戸引き違い保管庫	1760*400*880	保管庫ベース
0354563	応接セット		
0569575	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	耳掛け式イヤホン、ニッケル水素充電式電池、ハンドストラップ(装着済)
0569576	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	耳掛け式イヤホン、ニッケル水素充電式電池、ハンドストラップ(装着済)
0569577	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	耳掛け式イヤホン、ニッケル水素充電式電池、ハンドストラップ(装着済)
0569578	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	耳掛け式イヤホン、ニッケル水素充電式電池、ハンドストラップ(装着済)
0569579	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	耳掛け式イヤホン、ニッケル水素充電式電池、ハンドストラップ(装着済)
0569580	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	耳掛け式イヤホン、ニッケル水素充電式電池、ハンドストラップ(装着済)
0569581	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	耳掛け式イヤホン、ニッケル水素充電式電池、ハンドストラップ(装着済)
0569582	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	耳掛け式イヤホン、ニッケル水素充電式電池、ハンドストラップ(装着済)
0569583	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	耳掛け式イヤホン、ニッケル水素充電式電池、ハンドストラップ(装着済)
0569584	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	耳掛け式イヤホン、ニッケル水素充電式電池、ハンドストラップ(装着済)
0569585	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	耳掛け式イヤホン、ニッケル水素充電式電池、ハンドストラップ(装着済)
0569586	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	耳掛け式イヤホン、ニッケル水素充電式電池、ハンドストラップ(装着済)
0569587	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	耳掛け式イヤホン、ニッケル水素充電式電池、ハンドストラップ(装着済)
0569588	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	耳掛け式イヤホン、ニッケル水素充電式電池、ハンドストラップ(装着済)
0569589	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	耳掛け式イヤホン、ニッケル水素充電式電池、ハンドストラップ(装着済)
0569590	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	耳掛け式イヤホン、ニッケル水素充電式電池、ハンドストラップ(装着済)
0569591	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	耳掛け式イヤホン、ニッケル水素充電式電池、ハンドストラップ(装着済)
0569592	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	耳掛け式イヤホン、ニッケル水素充電式電池、ハンドストラップ(装着済)
0569593	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	耳掛け式イヤホン、ニッケル水素充電式電池、ハンドストラップ(装着済)
0569594	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	耳掛け式イヤホン、ニッケル水素充電式電池、ハンドストラップ(装着済)
0569595	ワイヤレスマイクロホン	RD-M650Z	ヘッドセット型マイクロホン、ニッケル水素充電式電池、ハンドストラップ(装着済)
0569596	パナガイド用充電器	RD-9622Z	
0569597	トランク	AD-RDAL2	
0603179	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	
0603180	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	
0603181	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	
0603182	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	
0603183	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	
0603184	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	
0603185	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	
0603186	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	
0603187	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	
0603188	パナガイド(ワイヤレス受信機)	RD-650Z	
0664239	双眼鏡	コーワSV32-10 10×32	

0664240	双眼鏡	コーワSV32-10 10×32	
0664241	双眼鏡	コーワSV32-10 10×32	
0664242	双眼鏡	コーワSV32-10 10×32	
0664243	双眼鏡	コーワSV32-10 10×32	
0664244	双眼鏡	コーワSV32-10 10×32	
0664245	双眼鏡	コーワSV32-10 10×32	
0664246	双眼鏡	コーワSV32-10 10×32	
0664247	双眼鏡	コーワSV32-10 10×32	
0664248	双眼鏡	コーワSV32-10 10×32	
0664249	双眼鏡	コーワSV32-10 10×32	
0664250	双眼鏡	コーワSV32-10 10×32	
0664251	双眼鏡	コーワSV32-10 10×32	
0664252	双眼鏡	コーワSV32-10 10×32	
0664253	双眼鏡	コーワSV32-10 10×32	
0664254	双眼鏡	コーワSV32-10 10×32	
0664255	双眼鏡	コーワSV32-10 10×32	
0664256	双眼鏡	コーワSV32-10 10×32	
0664257	双眼鏡	コーワSV32-10 10×32	
0664258	双眼鏡	コーワSV32-10 10×32	
0664845	冷蔵庫	シャープSJ-XF47W	
0664846	オープンレンジ	日立MR0-LS7	
0664847	テレビ	東芝レグザ 47ZT3	
0664848	ブルーレイレコーダー	東芝レグザ DBR-Z160	
0664914	アンプ	TOAWA-1812	
0664915	ワイヤレスマイク	TOA WN-1220	
0664916	ワイヤレスマイク	TOA WN-1220	
0664917	ハンド型ダイナミックマイク	TOADM1300	床上型マイクスタンドTOA ST-303A、マイクホルダーTOAYM128、卓上型マイクスタンドTOAST-66A
0664918	ワイヤレスマイクタイプピン型	TOA WM-1320	
0664919	ハンズフリー拡声器	TOA ER-1000BK	
0665021	望遠鏡	ニコンフィールドスコープEDIII	三脚ニコンFT1200、接眼レンズニコン24倍ワイドMC接眼レンズ
0665099	カメラ	デジタルカメラ オリンパスTG-625	
0665100	カメラ	デジタル一眼レフカメラキャノンEOS60DWKIT	
0665101	望遠レンズ	シグマ AP050-500mm F4.5-6.3 (キャノン用)	
0665213	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665214	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665215	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665216	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665217	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665218	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	

0665219	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665220	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665221	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665222	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665223	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665224	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665225	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665226	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665227	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665228	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665229	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665230	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665231	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665232	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665233	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665234	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665235	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665236	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665237	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665238	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665239	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665240	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665241	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665242	ついたて	コクヨ クロスパネル SN-PB1218KBN	
0665243	長椅子	オカムラ ストレートベンチ LB03HS-W407	
0665244	長椅子	オカムラ ストレートベンチ LB03HS-W407	
0665245	長椅子	オカムラ ストレートベンチ LB03HS-W407	
0665246	長椅子	オカムラ ストレートベンチ LB03HS-W407	
0665247	長椅子	オカムラ ストレートベンチ LB03HS-W407	
0665248	長椅子	オカムラ ストレートベンチ LB03HS-W407	
0665249	会議用机	トヨスチール 平行スタックテーブル STH-1860M-W	
0665250	会議用机	トヨスチール 平行スタックテーブル STH-1860M-W	
0665251	会議用机	トヨスチール 平行スタックテーブル STH-1860M-W	
0665252	会議用机	トヨスチール 平行スタックテーブル STH-1860M-W	
0665253	会議用机	トヨスチール 平行スタックテーブル STH-1860M-W	
0665254	会議用机	トヨスチール 平行スタックテーブル STH-1860M-W	
0665255	会議用机	トヨスチール 平行スタックテーブル STH-1860M-W	
0665256	会議用机	トヨスチール 平行スタックテーブル STH-1860M-W	
0665257	会議用机	トヨスチール 平行スタックテーブル STH-1860M-W	

0665258	会議用机	トヨスチール 平行スタックテーブル STH-1860M-W	
0665259	会議用机	トヨスチール 平行スタックテーブル STH-1860M-W	
0665260	会議用机	トヨスチール 平行スタックテーブル STH-1860M-W	
0665261	会議用机	トヨスチール 平行スタックテーブル STH-1860M-W	
0665262	会議用机	トヨスチール 平行スタックテーブル STH-1860M-W	
0665263	会議用机	トヨスチール 平行スタックテーブル STH-1860M-W	
0665264	丸腰掛け	オカムラ 丸スツール 5号 93JCFB-WB43	
0665265	丸腰掛け	オカムラ 丸スツール 5号 93JCFB-WB43	
0665266	丸腰掛け	オカムラ 丸スツール 5号 93JCFB-WB43	
0665267	丸腰掛け	オカムラ 丸スツール 5号 93JCFB-WB43	
0665268	丸腰掛け	オカムラ 丸スツール 5号 93JCFB-WB43	
0665269	丸腰掛け	オカムラ 丸スツール 5号 93JCFB-WB43	
0665270	丸腰掛け	オカムラ 丸スツール 5号 93JCFB-WB43	
0665271	丸腰掛け	オカムラ 丸スツール 5号 93JCFB-WB43	
0665272	丸腰掛け	オカムラ 丸スツール 5号 93JCFB-WB43	
0665273	丸腰掛け	オカムラ 丸スツール 5号 93JCFB-WB43	
0665275	傘立て	トヨスチール UB-285-148-6	
0665276	傘立て	トヨスチール UB-285-148-6	
0665277	ロッカー	トヨスチール 4人用ロッカーSLK-4	
0665278	ロッカー	トヨスチール 4人用ロッカーSLK-4	
0665279	ちり箱	トヨスチール掃除道具入れSWA-455	
0665280	パンフレットスタンド	コクヨ ZR-PS202	
0665281	パンフレットスタンド	コクヨ ZR-PS202	
0665282	ロッカー	アルファコインリターン式ロッカーRT3-5Tア	
0665283	ロッカー	アルファコインリターン式ロッカーRT3-5Tア	
0665284	ロッカー	アルファコインリターン式ロッカーRT3-5Tア	
0665285	ホワイトボード	トヨスチール脚付両面ボードTMH36TDG	
0665286	演台	トヨスチール演台ED-9044LG	
0665287	金庫	コクヨ耐火金庫HS-S20TKF1NN	
0665288	プロジェクターワゴン	トヨスチールプロジェクタワゴンTDP-4045LG	
0665289	モバイルスクリーン	トヨスチールモバイルスクリーンMS-83FN	
0666701	椅子収納台車	トヨスチールチェア収納台車OK-1421	
0666702	椅子収納台車	トヨスチールチェア収納台車OK-1421	
0666703	ラック	トヨスチールラック (基本)	
0666704	ラック	トヨスチールラック (基本)	
0666705	ラック	トヨスチールラック (連結) MK7660-5R	
0666706	ラック	トヨスチールラック (連結) MK7660-5R	
0666707	ラック	トヨスチールラック (連結) MK7660-5R	
0666708	ラック	トヨスチールラック (連結) MK7660-5R	

0666834	消火器ボックス	白	
0667776	「戸棚類」その他（展示台）	W1800×D600×H700 木製・ポリ仕上げ ストック用棚 1 段（可動式） 電源キャップ キャスター付	
0667777	「戸棚類」その他（展示台）	W1800×D600×H700 木製・ポリ仕上げ ストック用棚 1 段（可動式） 電源キャップ キャスター付	
0667778	「戸棚類」その他（展示台）	W1800×D600×H700 木製・ポリ仕上げ ストック用棚 1 段（可動式） 電源キャップ キャスター付	
0667779	「戸棚類」その他（展示台）	W1800×D600×H700 木製・ポリ仕上げ ストック用棚 1 段（可動式） 電源キャップ キャスター付	
0667780	「戸棚類」その他（展示台）	W1800×D600×H700 木製・ポリ仕上げ ストック用棚 1 段（可動式） 電源キャップ キャスター付	
0667781	「戸棚類」その他（展示台）	W1800×D600×H700 木製・ポリ仕上げ ストック用棚 1 段（可動式） 電源キャップ キャスター付	
0667782	「戸棚類」その他（展示台）	W1800×D600×H700 木製・ポリ仕上げ ストック用棚 1 段（可動式） 電源キャップ キャスター付	
0667783	「戸棚類」その他（展示台）	W1800×D600×H700 木製・ポリ仕上げ ストック用棚 1 段（可動式） 電源キャップ キャスター付	
0667784	「戸棚類」その他（展示台）	W1800×D600×H700 木製・ポリ仕上げ ストック用棚 1 段（可動式） 電源キャップ キャスター付	
0667785	「戸棚類」その他（展示台）	W1800×D600×H700 木製・ポリ仕上げ ストック用棚 1 段（可動式） 電源キャップ キャスター付	
0667786	「戸棚類」その他（展示台）	W1800×D600×H700 木製・ポリ仕上げ ストック用棚 1 段（可動式） 電源キャップ キャスター付	
0667787	「戸棚類」その他（展示台）	W1800×D600×H700 木製・ポリ仕上げ ストック用棚 1 段（可動式） 電源キャップ キャスター付	
0667788	「戸棚類」その他（展示台）	W1800×D600×H700 木製・ポリ仕上げ ストック用棚 1 段（可動式） 電源キャップ キャスター付	
0667790	「諸器具」その他（アクリル製水槽）	透明 1500×600×600 板厚10mm 蓋・底各8mm 脱着可能仕切板付き	
0667791	「器具類」その他（泥落としマット）	2850×1650 ナイロンブラッシュH-25 II	
0667792	「諸器具」その他（鳴き声タッチペンセット）		
0668902	ニツ折担架（固定式）アルミ	松吉医科器械01-3800-02	
0669310	LEDスポットライト	NNN O 3 5 2 3 W	
0669954	ひじ付回転椅子	OA-1155CJ (FG3) DGN	
0669955	ひじ付回転椅子	OA-1155CJ (FG3) DGN	
0669956	ひじ付回転椅子	OA-1155CJ (FG3) DGN	
0669957	ひじ付回転椅子	OA-1155CJ (FG3) DGN	
0669958	ひじ付回転椅子	OA-1155CJ (FG3) DGN	
0669959	ひじ付回転椅子	OA-1155CJ (FG3) DGN	
0669960	会議用机	XOA-2412B	
0669961	シュレッター	コクヨGSHA05M-S	
0670120	卓上小型券売機	グローリーVT-10	大型ボタン 2 個、VT-S10専用架台
0680594	印刷機	エプソンEP805AW	
0680675	車椅子	スチール製標準車椅子KR6-40NB	
0680676	車椅子	スチール製標準車椅子KR6-40NB	
0684589	顕微鏡	双眼実体顕微鏡ケニス1-150-176	
0694310	その他	太陽光発電システム	
0694311	その他	土系園路	
0694312	その他	のぞき穴付き塀	
0694313	その他	土系園路	
0896196	AED一式		
0968052	洗濯機	東芝 AW7GM1BKW	